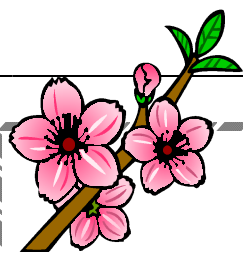


# 人権だより

2017. 3. 10

宇和島南中等教育学校  
人権教育部

No. 235



あれから6年

生徒相談室 岩本 伸治

**「いってきます」「いってらっしゃい」。いつもと同じ朝、同じ会話。それが最後になった……。**

東日本大震災から明日で丸6年。震災関連の記憶も薄れつつある中、僕が鮮明に覚えているフレーズだ。

今朝、みなさんは家を出る前、「いってきます。」と、家族にきちんと出てきてくださるでしょうか？それが別れの言葉になるかも、と想像しながら言う人は皆無だろう。しかし、実際6年前、あの震災で何万人もの人が同時にそのような悲しいことに遭遇してしまった。

毎朝、自然に発せられる「いってきます」。この語源には諸説あるが、**《今から出かけます、そして帰ってきます》**という意味が込められているようだ。昔は、隣村に出かけるにも、山深い峠を越えるなど、命懸けの場面もあっただろう。そのため、「いってきます」と言うことにより、「必ず帰ってきます」という約束の意味も含まれていたようだ。この「いってきます」に対して発する「いってらっしゃい」には、**《行って、無事に戻ってきてください》**という意味が込められている。

その“約束”を果たした言葉が「ただいま」。**「ただいま、帰ってきました」**の略。そして、無事に帰ったことに対しての**「約束を守って帰ってきてくださった。ありがとう」**の感謝の言葉が「おかえりなさい」。

何気なく交わす日常の挨拶に、このような深い意味が込められていることを皆さんはご存じだったでしょうか？僕は震災後、これらの言葉の意味を調べてからは、家族と交わすこの挨拶を、大事に言うよう心掛けている。慌ただしい毎朝、家を出る瞬間、家族と交わす短い言葉だからこそ、願いを込めてしっかり言いたいものだ。

「いってきます」「いってらっしゃい」は、大切な人への思いやりの証。そして大切な人との約束。今日も無事、「ただいま」が言えますように……。

## 【人権委員の声】

- ・ 普段何気なく使っている「いってきます」や「ただいま」にも大切な意味があるということを知りました。6年前、当たり前を奪われてしまった方たちは、きっと私が想像しているよりずっと苦しい生活を送っていたんだなとも思いました。これからは、一日一日を大切に、「いってきます」や「ただいま」などをきちんと言えるような人間になりたいです。 (2年1組)
- ・ 僕は、毎日家族に言っている「いってらっしゃい」という短い言葉の大切な意味について考えたことがありませんでした。しかし、この文章を読んで、毎日「いってらっしゃい」や「ただいま」と言えることが、とても幸せだなと考えさせられました。これからは、毎日挨拶をすることを心掛けていきたいと思います。 (2年1組)
- ・ 挨拶に、このような意味が込められているのを知りませんでした。これからは、大切に挨拶をしたいと思います。 (2年2組)
- ・ 南海トラフ地震の発生が危ぶまれている今、何気ない挨拶の大切さを改めて感じました。「いってらっしゃい」と送り出してくれる家族の存在に感謝し、「いってきます」と笑顔で言えるような生活を送りたいです。 (2年2組)
- ・ 普段何気なく使っている挨拶に、とても深い意味が込められていることを初めて知った。たった一言の挨拶でも、言い忘れたりすることのないようにしたいと思う。 (2年3組)
- ・ 普段、何気なく言っている挨拶の言葉に、すばらしい意味があることが分かりました。何も言わずに出て行ったり、怒ったまま言ったりするのはやめた方がいいと思いました。 (2年4組)

### ～前号(吉川先生の文章)を読んで～

- ・ 私は今、当たり前前に生活をしています。でも、生きたくても生きられない人が世界にはいます。だから、毎日一生懸命生きて、困っている人を助けられる人になりたいです。 (3年1組)
- ・ 人間は一人では生きていくことができず、周りの人から支えてもらってようやく生きることができるのだと改めて実感しました。そして友達の延命のために募金活動を始めた吉川先生と周りの人たちの行動力もすごいと感じました。 (3年1組)

## 【考えてみよう】



先日、多くの卒業生が、「お母さん、ありがとう」「お父さん、ありがとう」という感謝の言葉を残し、南校を巣立っていきました。よその人には割と気軽に言えるのに、面と向かって家族にはなかなか言えない「ありがとう」を、「ただいま」と併せて言ってみるのも、素敵だと思います。